

共同作詞における意見集約支援システム

Opinion Aggregation Support System for Collaborative Lyrics Writing

学籍番号：201421607

氏名：村元 俊一郎

Shunichiro MURAMOTO

近年、音楽創作活動の分野において、複数人でひとつのものを作り上げる創作活動に注目が集まっている。複数人での創作活動を成功させるには、個々の意見を集約しなければならない。しかし、参加者の技能が均一である場合に、歌詞の創作において有効なアプローチはない。そこで本研究では、複数人での作詞活動において、意見がよりよく集約されるために、イメージの共有を円滑にする意見集約支援システムを実装し、その効果を検証した。

本システムは、ディスカッションによる作詞活動において、アイデアを記録するためのテキストチャットシステムである。ディスカッションと並行して行うアイデアの外在化を支援する機能と、テキストチャットの持つ視認性の高いインタフェースによって、イメージ共有が促されると考えた。

評価実験では、これらの効果を検証するために、3人1組のグループ3組を対象に本システムを使用した作詞と使用しない作詞の両方を行ってもらった。それぞれの作詞では、既存の楽曲を課題曲として与え、グループでディスカッションしながら作詞してもらった。

システムを利用したアイデアの外在化については、実験参加者によって外在化の頻度に偏りがみられ、アイデアの外在化を支援する機能の効果は一部の参加者への影響に留まった。一方で、本システムを利用した作詞の方が、比較的短時間で、満足度の高い詞ができるという結果が得られた。これは、チャットシステムのインタフェースが作詞過程を阻害しない、効率のよいイメージ共有を促したことで、意見をよりよく集約したものと考えられる。

本研究により、本システムによって意見の集約を促進できる可能性が示唆された。しかし、作詞過程においてアイデア発想の偶然性が及ぼす影響が見られたため、サンプル数を増やして検証する必要がある。また、作成された歌詞について評価を行い、創造性を有しているかの検証も今後の課題として挙げられる。

研究指導教員：高久 雅生

副研究指導教員：松村 敦